

## 思いやりは人権尊重の第一歩

6月19日(火)、養北こども園東園舎で人権教室(創作人形劇の上演)が開催されました。

西濃地区の人権擁護委員の皆さんによる創作劇「一番偉いのは、だれ？」を鑑賞しました。この創作劇は医者のカバや消防士のゾウたちが、自分が一番偉いだと主張していたが、木のおじさんが「誰にでも良いところがあり、誰もが一番なんだよ」と教えるお話です。

劇を見終えた52人の園児たちは、どの子も「楽しかった」と答え、その後、人権イメージキャラクターの人KENまもる君と人KENあゆみちゃんも登場し、みんなと仲良くすることの大切さを学びました。



創作劇を熱心に見つめる園児たち



将来の夢と海外で学ぶ抱負を語った柿本さん(右)

## 農業高校生海外実習派遣

6月27日(水)、農業高校生海外実習派遣団の一員として選抜された大垣養老高等学校生産科学科2年の柿本玲於奈さん(船附)が大橋孝町長に出發報告を行いました。

大橋町長から激励を受けた柿本さんは、「将来、畜産業を発展させる担い手になりたい。各国の先端技術を学び、町の発展に貢献したい」と抱負を語りました。

派遣団は、アメリカ、ブラジル、オランダ、ドイツの4カ国で実習を行い、現地の生徒と交流しながら調査・研究をします。

## 一戦一戦全力で!

6月27日(水)、飛水☆大垣スターフレンズ所属の大橋稟さん(養北小4年)、蒼さん(養北小2年)(金屋)が来庁し、大橋孝町長に「第32回全日本小学生女子ソフトボール大会」の出場報告をしました。

今大会は、北海道で開催され、予選を勝ち進んだ都道府県代表47チームと開催地推薦1チームの全48チームで優勝を争います。

なお、町では、町民のスポーツ振興の促進を図るため、全国大会などのスポーツ競技会に出場する人を応援するため「養老町スポーツ競技会出場者激励金」を交付します。



「県の代表として精一杯頑張ります」と意気込みを語る大橋稟さん(前列右)、蒼さん